

小名浜港東港地区で**大きな揺れ**を感じたら、避難目標地点まで速やかに**避難**を開始しましょう。

◆津波避難の心得

1. 揺れを感じたら直ぐに避難する
2. 「津波注意報」以上で避難する
3. 徒歩でマリブリッジに避難する（車を使わない）
4. 津波は繰り返し襲来するため、避難後は引き返さない
5. 周りの人に声をかけながら避難する



◆平常時の備え

東港地区に入る際は、次の準備を行っておく必要があります。

- ✓ 「いわき市防災メール」に登録しておく
- ✓ 「非常持出袋」を準備しておく
- ✓ 「雨具」や「防寒具(アルミシート等)」も非常持出袋に入れておく



◆防災メモ

項目	メモ内容
所属	
名前	(ふりがな)
住所	
連絡先	
その他	

◆気象庁が発表する津波警報・注意報

「津波注意報」、「津波警報」、「大津波警報」のいずれかが発表された場合には、直ちに避難行動を開始してください。

	予想される津波の高さ		東港地区にいる人のとるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報 (特別警報)	10m超 (10m<高さ)	巨大	ただちに安全な場所に避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、警報が解除されるまで避難場所から離れないでください。 避難場所：小名浜マリブリッジ	東港地区の全域が浸水してしまう可能性が極めて大きい。 建築物やプレハブ等が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	※マリブリッジに着いたら安心しないで、より高い場所を目指して避難しましょう。	東港地区の大部分が浸水してしまう可能性がある。 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (0.2m<高さ≤1m)	(表記しない)	注意報が発生した場合においても、津波警報に切り替わる可能性があります。 速やかに避難し、注意報が解除されるまで避難場所から離れないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。小型船舶が転覆する。

出典：気象庁ホームページ

◆津波警報・避難情報の入手方法

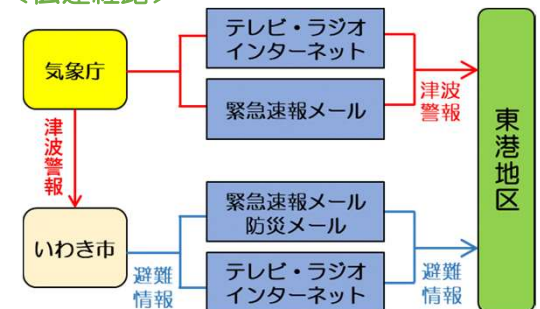
災害時には、正確な情報を入手することが重要です。正しい情報を素早く入手出来るように普段から準備しましょう。

<情報入手方法>

- ① テレビ
- ② ラジオ
- ③ インターネット
- ④ 緊急速報メール
- ⑤ 防災メール（登録制）



<伝達経路>



<情報収集ツール>

●気象庁
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>



●いわき市
携帯サイト
<http://www.city.iwaki.lg.jp/>



●いわき市防災
メール（登録制）
iwaki@entry.mail-dpt.jp



